**行政保健師の施策化能力評価尺度**

このスケールは、行政保健師の施策化能力を、自分自身でまたは他者からの立場ではかることにより、よりよい実践を行っていくためのものです。

［ご本人が使用する場合］　次の16項目に関する施策化能力をはかる項目が、どの段階だと感じていますか。

　　　　　　　　　　　　　　　　　日々の業務を振り返り、該当するレベルの数字に〇をつけて下さい。

［他者の立場で使用する場合］　はかる方の施策化能力について、どの段階だと思われますか。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　□に該当するレベルの数字0～3の数字を記入して下さい。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評価段階 | レベル0 | 知識は概ねあるが、技術を得る必要があり、複雑でない状況で時々助言を得て実践する |
| レベル1 | 知識・技術は概ねあるが、複雑な状況で時々助言を得ながら実践する |
| レベル2 | 知識・技術はともにあり、複雑な状況でも根拠に基づく判断で臨機応変に実践する |
| レベル3 | 同僚・後輩に自分の知識・技術を教育的に提供する |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 因子名 | 行政保健師の施策化能力評価項目 | | 自己評価 | | | | 他者評価 |
| レベル0  できない  （点） | レベル1  やや  できない  （点） | レベル2  やや  できる  （点） | レベル3  できる  （点） | レベル0～3の数字 |
| ［第1因子］ | 1 | 住民と解決すべき健康課題を共有する | 0 | 1 | 2 | 3 | □ |
| コミュニティパートナーシップ | 2 | 地域の関係者・組織・機関と解決すべき健康課題を共有する | 0 | 1 | 2 | 3 | □ |
| 3 | 住民に施策化の必要性を説明する | 0 | 1 | 2 | 3 | □ |
| 4 | 地域の関係者・組織・機関に施策化の必要性を説明する | 0 | 1 | 2 | 3 | □ |
| 5 | 地域住民や地域組織・地域の関係機関と施策化の必要性について合意を得る | 0 | 1 | 2 | 3 | □ |
| 6 | 地域住民や地域組織・地域の関係機関と施策化における役割を調整する | 0 | 1 | 2 | 3 | □ |
| 7 | 地域住民や地域組織・地域の関係機関が施策化に参加できる機会を平等に提供する | 0 | 1 | 2 | 3 | □ |
| 8 | 施策の進捗を地域住民や地域組織・地域の関係機関に報告する | 0 | 1 | 2 | 3 | □ |
| ［第2因子］ | 9 | 疫学を活用して健康課題を分析する | 0 | 1 | 2 | 3 | □ |
| 地域診断サイクル | 10 | 健康課題を多角的にアセスメントする | 0 | 1 | 2 | 3 | □ |
| 11 | 行政機関が対応すべき健康課題の優先順位を判断する | 0 | 1 | 2 | 3 | □ |
| 12 | 長期的な見通しをもち健康課題の解決策を検討する | 0 | 1 | 2 | 3 | □ |
| 13 | 福祉・教育・環境など関連分野の施策を理解する | 0 | 1 | 2 | 3 | □ |
| 14 | 施策の評価指標を明確にする | 0 | 1 | 2 | 3 | □ |
| 15 | 施策化が必要な根拠を明文化する | 0 | 1 | 2 | 3 | □ |
| 16 | 費用対効果の観点から施策を評価する | 0 | 1 | 2 | 3 | □ |
| 合計 | | |  |  |  |  |  |
| 総合点 | | | □/48　点 | | | | □/48点 |

鈴木由里子,田髙悦子：行政保健師の施策化能力評価尺度の開発．日本公衆衛生雑誌．60（6），275-285，2014．DOI：10.11236/jph.61.6\_275．